

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年9月20日（水）

2 確認箇所

- (1) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備（放水立坑（上流水槽）（5・6号敷地護岸ヤード）
- (2) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備（移送配管ベント弁）

3 確認項目

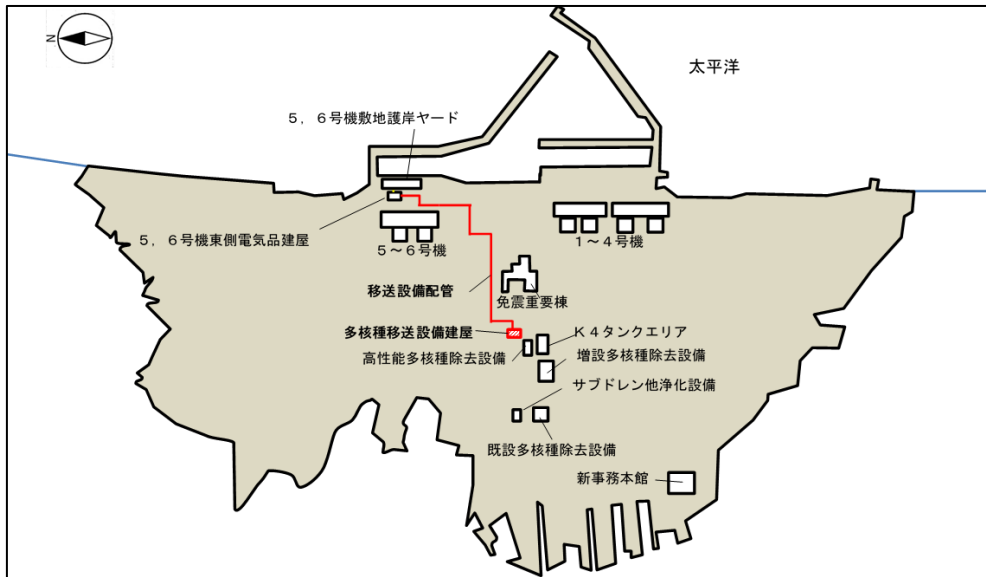
- (1) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備の点検等の状況
- (2) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備移送配管ベント弁の状況

4 確認結果の概要

- (1) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備の点検等の状況

多核種除去設備等処理水（以下、「ALPS処理水」という。）の初回放出が9月11日に終了し、ALPS処理水希釈放出設備の放水立坑（上流水槽）（以下「上流水槽」という。）内の点検等が行われていることから状況の確認を行った。（図1）

- ・上流水槽から水が排出され、点検のため床面の堆砂の除去が実施されたことから、床面が確認できる状況であった。（写真1）
- ・壁面の一部には土砂及び海生生物が付着している状況であった。（写真2）
- ・東京電力によると、ひび割れや防水塗装の亀裂等、有意な欠陥は確認されなかったとのこと。また、今後、計画的に点検を行っていく予定とのこと。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
上流水槽床面の状況



(写真2-1)
上流水槽壁面の状況①
(土砂の付着状況)



(写真 2 - 2)
上流水槽壁面の状況②
(海生生物付着状況)

(2) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備移送配管ベント弁の状況

移送配管にはベント弁が10箇所(上流側からベント弁1~10)設置されているが、ベント弁3において9月6日に漏えい警報が発生、その後点検を実施し9月13日に復旧している。ベント弁1, 2については、9月19日に点検が実施されていたことから、その他のベント弁について確認を行った。

- ・ベント弁4を確認したところ、東京電力社員及び協力企業作業員により、防水カバーを取り外した状態で内部の点検作業が行われていた。

(写真3)



(写真3)
ベント弁4点検作業の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。